

ブラジル福井県文化協会創立50周年 記念式典訪問団 報告書

日程 平成16年8月26日(木)～9月1日(水)

訪問地 ブラジル連邦共和国 サンパウロ州

ブラジル福井県文化協会創立50周年記念式典訪問団

団長 福井県議会議長 山本芳男

福井県議会議員 安居喜義

随員 総務課主任秘書 大塚健治

ブラジル福井県人会創立50周年記念式典出席日程

月 日	現地時間	内 容
8月26日 (木)	19:45 18:45 21:20	成田空港発(JL048 便) JFケネディ空港着 JFケネディ空港発(JL048 便) 機内泊
8月27日 (金)	7:00 10:00 10:30 14:00 15:40 19:00	サンパウロ空港着 開拓先没者慰霊塔参拝 サンパウロ州議会議員訪問 サンパウロ州政府儀典局長訪問 在サンパウロ総領事訪問 日系社会有識者等との意見交換会 マツバラホテル泊
8月28日 (土)	8:50 19:10	県人会連合会等日系3団体訪問 ブラジル福井県文化協会役員、研修員OBによる歓迎会 マツバラホテル泊
8月29日 (日)	10:05 17:00	創立50周年記念式典、祝賀会 研修員OB等との意見交換会(～18:30) マツバラホテル泊
8月30日 (月)	11:00 19:00	ブラジル福井村現況調査 サンパウロ空港着 【飛行機内オーディオシステムのトラブルのため離陸が遅れる】
8月31日 (火)	0:35 8:40 11:10	サンパウロ空港発(JL047 便) JFケネディ空港着(JL047 便) JFケネディ空港発(JL047 便) 機内泊 (日付変更線通過)
9月1日 (水)	13:30 14:35 15:45	成田空港着(JL047 便) 成田空港発(JL047 便) 名古屋空港着(JL047 便)

開拓先没者慰霊碑参拝

1 日 時 平成16年8月27日(金) 10:00～10:20

2 場 所 サンパウロ市イビラプエラ公園内

3 参加者

【福井県側】

・福井県議会

山本議長、安居議員、大塚主任秘書

・福井県

山本副知事、多田国際政策課長、庭本主任

【ブラジル側】

・ブラジル都道府県人会連合会

中沢会長(宮城県人会会長) ほか

・ブラジル福井県文化協会

山下会長 ほか

4 概 要

- ・ ブラジルの開拓に寄与した移民先没者の慰霊碑を参拝し、先没者の方々の御霊の御冥福を祈念
- ・ 参拝記録簿に記名

在伯日系団体訪問、移民資料館見学

- 1 日時 平成16年8月28日(土) 8:50~10:40
- 2 場所 ブラジル日本文化センター内(同じビル内)
ブラジル日本文化協会
ブラジル日本都道府県人会連合会
サンパウロ日伯援護協会
移民資料館
- 3 参加者
 - 【福井県側】
 - ・福井県議会
山本議長、安居議員、大塚主任秘書
 - ・福井県
山本副知事、多田国際政策課長、庭本主任
 - 【ブラジル側】
 - ・ブラジル福井県文化協会
山下会長 ほか
- 4 対応者
 - ・ブラジル日本文化協会 会長 上原 幸啓 ほか
 - ・ブラジル日本都道府県人会連合会 副会長 竹下 康義
 - ・サンパウロ日伯援護協会 副会長 酒井 清一 ほか
- 5 概要

各協会についての概要説明を受けた。特に、2008年移民100周年事業および日系人の高齢者福祉対策についてのサポートの要請があった。その後、移民資料館を見学。概要は以下のとおり。

ブラジル日本文化協会

- ・日系人がブラジル社会で尊敬されるのは、倫理と道徳心を持って生きてきたこと、農業を一生懸命やったこと、教育に熱心であったことからである。

- ・ ブラジルの欠点は、差別はないが、貧富の差が大き過ぎることである。
- ・ 今から50年前には教育がなく、7割が文盲であった。そのことからスラム街ができ、治安が悪化した。
- ・ 日本ほど貧富の差が少なく、りっぱな国はないと誇りに思っている。2、3世の人にも日本のりっぱな文化を身に付けてもらいたい。2008年の移民100周年には日伯総合センターを建設し、日系人のシンボルとなったらうれしい。
- ・ 日系人は、現在140万人いるが、1世は5%しかいない。5年、10年後にはいなくなるだろう。そうした1世に感謝を表すため、成功した人だけではない日系社会の声を、イメージを記録して残しておきたい。

また、バラバラになっている日系社会の団結のため、日本とブラジルの交流のため、混血の人が誇りを持てるものを造り、日本文化を少しでも身に付けてもらうために移民100周年を成功させたい。

ブラジル日本都道府県人会連合会

- ・ 県人会は47都道府県全部あり、会員は沖縄県が一番多い。
- ・ 慰霊碑の管理も行っている。
- ・ 研修員、留学生制度により、日本に行き、日本のことをわかっている2、3世を増やし、そういう人達を中心に母県との交流を続けて行って欲しい。
- ・ しかし、そういう事業は縮小される傾向にある。日系人は日本の財産であると言われるが、そう思っただけのなら、サビがこない程度でこ入れをしていただきたい。
- ・ 県人会としても母県に対して何ができるかということを考える必要がある。

(サンパウロ日伯援護協会)

- ・ 当協会には、福祉部、社会活動部、援協巡回診療班、日伯友好病院がある。
- ・ 福祉部には、1000人程が勤務。
診療所、やすらぎホーム(リハビリ、56名)、さくらホーム(50年前は肺病の治療を行っていたが、現在は診療所)スーザンイッペランジャホーム(老人ホーム、80歳位が多い)、あけぼのホーム(要介護者)
- ・ 援協巡回診療班は、巡回診療、定期健診(成人病などの検診)
- ・ 日伯友好病院は、1500人が勤務。
2~3千人が利用。ブラジル人が多いが、手術などは日系人が多い。年間40億円で、黒字経営。これからの課題は、ブラジル社会に対する貢献。(たとえば、街頭チルドレンの教育支援など)

サンパウロ州議会議員との意見交換

- 1 日 時 平成16年8月27日(金) 10:30~12:00
- 2 場 所 州議会庁舎
Palacio 9 de gullrio AV.Pdro Alvares Calral.201-2
Ibirapuera-Sao Paulo SP
- 3 参加者
【福井県側】
 - ・福井県議会
山本議長、安居議員、大塚主任秘書
 - ・福井県
山本副知事、多田国際政策課長、庭本主任
【ブラジル側】
 - ・ブラジル福井県文化協会
山下会長 ほか
- 4 応対者 ロメウ・トーマ州議会議員
(高橋カーロス・サンパウロ州議会儀典課長同席)
- 5 概 要

ブラジルと日本の議会制度、社会状況、特に治安問題について意見交換を実施。概要は以下のとおり。

(山本議長挨拶概要)

ブラジル福井県文化協会の創立50周年記念式典に出席するため、サンパウロ市を訪問した。当文化協会は、福井県とブラジルを結ぶ唯一の機関として献身的な活動を行っており大きな期待をしている。今後とも、両国、サンパウロ州と福井県が、研修員や留学生などの青少年交流事業や経済、文化、スポーツなど様々な面で交流を発展させていきたい。

(トーマ議員)

- ・ 議長は選挙の関係で出張しており、お会いできなくて申し訳ない。
- ・ この度は、福井県の皆様にお会いできて大変うれしい。私達は、これまでも日本の国とは親睦を深めてきたし、交流を深めることは大きな意義がある。個人的にも、私の弟の妻は日系人であり、親しみを感じる。
- ・ 私の職業は警察官で、日本の警察と一緒に仕事をしたこともあり、1度、3時間だけ日本に滞在したこともある。
- ・ 今回のオリンピックでの日本の活躍を祝福する。

(山本議長)

- ・ サンパウロ州議員の中に、福井県を訪問したことがある議員はいるか。

(トーマ議員)

- ・ 公式に訪問した人はいない。ベラルド議長は先日、日本の東京と大阪を訪問した。
- ・ サンパウロ州議会の議員数は、94名である。サンパウロ州では、立候補者の30%は女性でなければならないとの法令があり(当選するかどうかは別)、うち10名が女性である。福井県議会議員の数は。

(山本議長)

- ・ 議員数は、40名で、女性は現在いない。女性議員がいないのは、制度としてないというのではなく、当選できなかったということである。
- ・ サンパウロ州議会議長の任期は何年なのか。

(トーマ議員)

- ・ 4年であり、1度議長を経験した者は、次の者にチャンスを与えるということで、2度の立候補はしない。

(山本議長)

- ・ 日本では、最近、財政難が深刻であるが、ブラジルではどうか。

(トーマ議員)

- ・ どこも同じであり、3週間前にアルキミン知事が地下鉄建設のための援助を受けるため、日本を訪問している。また、サンパウロの中心部を流れるチエテ川は、日本からの援助(ODA)を受けて浚渫工事を行っている。

(山本議長)

- ・ ちょうどそのチエテ川の工事視察に、福井県出身の国会議員である松村龍二議員が先日サンパウロを訪問したところである。

(トーマ議員)

- ・ 日本では、県と県がお互いに競争するようなことはないのか。

(山本副知事)

- ・ マスコミが県の経済等についての比較はするが、政治的な競争はあまりな

い。また、税制が県ごとに違うというようなことはない。

(トーマ議員)

- ・ 治安状況はどうか。

(山本議長)

- ・ 北朝鮮による拉致問題もあるが、検挙率は高く、本県は原子力発電所を多く抱えていることから、テロ対策にも力を入れている。

(トーマ議員)

- ・ ブラジルでは、連邦警察と市警察に組織が分かれるが、日本ではどうか。

(山本議長)

- ・ 国が定員を定めて、県が採用を行っている。
- ・ 福井県は日本の真ん中にあり、暮らしやすさは日本一である。是非おいでください。

(山本副知事)

- ・ 福井県では、治安回復プログラムを作成しているので、参考にお送りします。

6 その他

意見交換終了後、大、小議場およびトーマ議員の議員会館の部屋を見学

- ・ 小議場には、州政府 6 4 6 の市の旗が掲示されている。

日系社会有識者等との意見交換会

1 日 時 平成16年8月27日(金) 19:00~21:00

2 場 所 Matsubara Hotel
R.cel.Oscar Porto,836-Paraiso-Sao Paulo

3 参加者

【福井県側】

・福井県議会

山本議長、安居議員、大塚主任秘書

・福井県

山本副知事、多田国際政策課長、庭本主任

・福井県日伯友好協会

大西常任理事 ほか1名

【ブラジル側】

・有識者等

竹下康義・ブラジル都道府県人会連合会副会長

桜井悌司・JETROサンパウロ所長

宮原ジョージ・サンパウロ市議員補佐官

伊藤捨次・セーレン・プロデゥトス・オートモティボス社長

大蔵賢一・ミタニオチカ社長

渡辺洋一・NEC副社長

石井久順・プラスビア社長(日系旅行社) ほか

・ブラジル福井県文化協会

山下会長 ほか役員約20名

4 概 要

ブラジルの経済事情、社会情勢等について意見交換(フリートーキング)

(山本議長挨拶概要)

ブラジル福井県文化協会の創立50周年記念式典にご招待をいただきお礼申し上げます。皆様方は、幾多の困難を乗り越え、見事にこの地に根を張り、本国とブラジルとの交流の礎を築かれた。これまでのご労苦に敬意を表するとともに、今後ともなお一層のご活躍と、交流が深まることを祈念する。

サンパウロ州政府儀典局長との意見交換

- 1 日 時 平成16年8月27日(金) 14:00~14:50
- 2 場 所 バンデランス宮殿州正庁
- 3 参加者
 - 【福井県側】
 - ・福井県議会
山本議長、安居議員、大塚主任秘書
 - ・福井県
山本副知事、多田国際政策課長、庭本主任
 - 【ブラジル側】
 - ・ブラジル福井県文化協会
山下会長 ほか
- 4 応対者 ブラジリア・デ・アルーダ・ボテーリョ州政府儀典局長
- 5 概 要

在伯県人の状況等について意見交換を実施。概要は以下のとおり。

(儀典局長)

- ・ サンパウロ州と富山県とは友好提携を締結しており、今度、富山県を訪問する時には、福井県にも立ち寄りたい。

(山本副知事)

- ・ 福井県は、繊維とめがね枠では日本でも有名である。

(儀典局長)

- ・ 知事公邸には、1,500人が働いている。

在サンパウロ総領事との意見交換

- 1 日 時 平成16年8月27日(金) 15:40~16:15
- 2 場 所 在サンパウロ総領事館
Avenida Paulista 854,3-ander,Sao Paulo, SP
- 3 参加者
【福井県側】
 - ・福井県議会
山本議長、安居議員、大塚主任秘書
 - ・福井県
山本副知事、多田国際政策課長、庭本主任【ブラジル側】
 - ・ブラジル福井県文化協会
山下会長 ほか
- 4 応対者 石田仁宏・在サンパウロ総領事
(西山 巖・領事同席)
- 5 概 要

ブラジルの治安・雇用・経済等の状況について説明を受け、日系人の社会的地位と今後のあり方等について意見交換を実施。概要は以下のとおり。

(石田総領事)

- ・ 台風で大変な被害を受けられたということでお見舞い申し上げます。
- ・ 1908年に笠戸丸で日本人が最初にブラジルに移住して、あと4年で100周年を迎える。どう祝ったらよいか、ブラジルとの交流をどう盛り上げていったらよいか、ブラジルと日本の交流の活性化を考えないといけない。
- ・ 1980年くらいにブラジル経済がおかしくなって、日本も90年代にバブルがはじけて、300社くらいあった日本企業も撤退していった。今は、ブラジル人が日本に出稼ぎに行っており、移住の逆転現象が起きている。
- ・ ブラジルでは3分の1の子供が就学していない。子供の犯罪率はブラジルが世界一である。

- ・ 今度、小泉首相が来伯した際には、日系人との懇談も予定している。
- ・ 日系人社会は勤勉で評価が高い。それは先人の大変な苦勞があったからで、その中でも子供の教育を重視して学校を造って勉強させたおかげであり、今後も保って行って欲しい。

(山下会長)

- ・ 福井県からの移住者は少ないが、クリチバ市長の両親は福井県出身であり、優秀な人が多い。現在、移住者名簿を作成中だが、調査は難航している。2、3世まで含めると1万人くらいいるのではないか。
- ・ 母県からは、県人のための移住地の建設、電気の導入、日本語モデル校の整備など、今までは最高の支援をしてもらっている。

ブラジル福井県文化協会創立50周年記念式典

- 1 日 時 平成16年8月29日(日) 10:05~15:30
- 2 場 所 サンパウロ市 ブラジル愛知県人会館
Rua Santa Luzia,74,Liberdade-Sao Paulo,SP
- 3 内 容
- 司会 阿部スエリ(日語) 桑原セルソ(ポ語)
- (1) 開会の言葉 ブラジル福井県文化協会副会長 有明 正一
- (2) 先亡者の霊に黙祷
- (3) 日本ブラジル両国歌斉唱
- (4) 来賓紹介
- (5) 会長挨拶 ブラジル福井県文化協会会長 山下 治
- (6) 来賓祝辞 福井県副知事 山本 雅俊
福井県議会議長 山本 芳男
サンパウロ日本国総領事館領事 西山 巖
福井県移住者家族会会長 笹島 彦治
福井県日伯友好協会代表 大西 義幸
サンパウロ市議会議員 羽藤 ジョージ
ラジル日本都道府県人会連合会副会長 竹下 康義
在亜福井県人会代表 北川 アルフレッド
- (7) 祝電披露 ブラジル福井県文化協会副会長 石津 黎子
- (8) バンデイランテス勲章授与
ワイデマル・バロン・サントス・サンパウロ州勲章局長から西川一誠
福井県知事および山本芳男福井県議会議長へ
- (9) 功労者および高齢者表彰等 福井県副知事 山本 雅俊
副知事から功労賞4名へ
高齢者表彰52名へ
高齢者感謝状37名へ
受賞者代表謝辞 森瀬 康
内山 瑞英
- (10) 記念品等贈呈 福井県副知事 山本 雅俊
福井県議会議長 山本 芳男
福井県移住者家族会会長 笹島 彦治
福井県日伯友好協会代表 大西 義幸
- (11) 感謝状および記念品贈呈
ブラジル福井県文化協会会長 山下 治
副知事、議長、家族会、日友好協会等へ
- (12) 研修員および留学生代表謝辞

ブラジル福井県文化協会青年部長 立山レイナルド敏行
 (13) 閉会の言葉 ブラジル福井県文化協会副会長 志田 茂夫
 記念祝賀会
 記念アトラクション

4 参加者

【福井県側】

・福井県議会

山本議長、安居議員、大塚主任秘書

・福井県

山本副知事、多田国際政策課長、庭本主任

・福井県海外移住者家族会

笹島会長 ほか1名

・福井県日伯友好協会

大西常任理事 ほか1名

【アルゼンチン側】

・在亜福井県人会

北川アルフレッド氏 ほか1名

【ブラジル側】

サンパウロ日本国総領事館領事

西山 巖

JICAサンパウロ次長

石橋 隆介

ブラジル日本都道府県人会連合会副会長

竹下 康義

ブラジル日本文化協会副会長

松尾 治

サンパウロ州政府勲章局長 ワイデマル・バロン・サントス

サンパウロ市議会議員

羽藤 ジョージ

JETROサンパウロ所長

桜井 悌司

セーレン・プロデットス・オートモティボス社長

伊藤 捨次

ミタニオチカ社長

大蔵 賢一

サンパウロ市議会議員補佐官

宮原 ジョージ

プラスピア社長(日系旅行社)

石井久順

その他ブラジル福井県文化協会会員等多数

合計約300名

5 その他

(山下会長挨拶概要)

- ・ 50年前の本日、この会が発足した。この日を迎え、改めて先人の功績を讃え、感謝と敬意を表したい。
- ・ 水害や原子力発電所の事故があったにもかかわらず、慶祝団を派遣してくださった母県に感謝する。
- ・ 将来に向かって一層の努力をなし、母県との交流を推進しながら、ブラジルの社会発展に寄与したい。

- ・ 今後も、日系ブラジル人としての誇りと志を高めるべく、更に精進することを誓いましょう。

(西山領事挨拶概要)

- ・ 気候、風土、言語、習慣の異なるブラジルで、想像を絶する困難に打ち勝ち着実に発展を遂げ、確固たる地位を築いている。
- ・ 福井県人は、移住者数は少ないが、早くから一丸となって親睦、融和を図っていた。
- ・ 人材育成にも積極的に取り組んでおり、他県の子弟をも研修員として受け入れているのは、特筆すべきことである。
- ・ 2008年に移民100周年を迎えるが、今後の交流を一層緊密にする上で、これからの発展の方向性を指し示す、重要な契機となる。

(山本議長挨拶概要)

- ・ ブラジル福井県文化協会創立50周年を心からお祝いするとともに、長年のご努力とご労苦に敬意を表する。
- ・ 風土、文化などが異なる中、皆様のご努力がブラジル社会の中でも高く評価されており、福井県民にとっても大いに誇りである。
- ・ 国際化が進む中、今後とも両国の友好の架け橋として大いに期待している。

(大西福井県日伯友好協会常任理事挨拶概要)

- ・ 2、3世へと時代は変わって行くが、いつまで日本人として、福井県人としての意識を持っていただけるかが、大きな課題として横たわっている。
- ・ 研修員制度の積み重ねが重要だと思われるが、私共に果たせる役割があれば遠慮なく言って欲しい。

(竹下ブラジル日本都道府県人会連合会副会長挨拶概要)

- ・ 先日、福井県において水害があった際に、福井県人会は直ちに募金をした。福井県人会の同郷を思う気持ちに、心を打たれた。
- ・ 毎年、サンパウロの日本祭の福井県ブースでは、多くの研修員や留学生が集まっており、若手の会員が順調に育っていることは喜ばしい。
- ・ 移民100周年に向けて、いろんな県人会に協力いただきたいと思っている。

(立山ブラジル福井県文化協会青年部長挨拶概要)

- ・ さまざまな分野で研修できるプログラムを与えてくださる福井県に感謝している。
- ・ 福井県で学んだ技術と文化を、我々青年部は次の世代に伝え、母県とブラジルの架け橋としての活動を続けていきたい。

ブラジル福井村現況調査

- 1 日 時 平成16年8月30日(月) 11:00~13:30
- 2 場 所 サンパウロ州 サンミゲールアルカンジョ市
Bairro Colonia Pinhal, Sao Miguel Arcanjo, SP
- 3 参加者
 - 【福井県側】
 - ・福井県議会
山本議長、安居議員、大塚主任秘書
 - ・福井県海外移住者家族会
笹島会長
 - ・福井県日伯友好協会
大西常任理事
 - 【ブラジル側】
 - ・ブラジル福井県文化協会
山下会長 ほか
 - ・アルカンジョ市会議長
ジョー小田原ほか2名
- 4 応対者 広瀬義夫・コロニアピニャール文化体育協会会長 ほか

5 概 要

(広瀬会長挨拶概要)

福井県から、遠路はるばる福井村を訪ねていただき心から歓迎する。歴代の知事等の努力によりこのような発展をみた。今後とも当村と母国福井県との交流をどのように深めていくか、皆様のご理解とご協力をお願いします。

(山本議長挨拶概要)

ブラジル福井県文化協会の創立50周年記念式典にご招待を受け、あわせて福井村にも訪問させていただいた。昭和37年に入植され、今年で42年、皆様のご努力により、すばらしい繁栄を築いておられ、喜ばしい限りである。風土、文化などが異なる中、皆様のご努力がブラジル社会の中でも高く評価されており、福井県民にとっても大いに誇りとするところ。皆様の旺盛な開拓精神に敬意を表するとともに、次世代にも語り継いでいくことが我々の責務。なお一層の繁栄と、友好交流の進展を祈念する。

(その他概要)

(福井村までの状況)

- ・ サンパウロ市内から最寄りの都市ソロカバ市まで4車線化された道路で都市化された風景が続く。
- ・ ソロカバ市を過ぎ、郊外に入ると、道路には信号が少ないが、道路表面に道路幅のかまぼこ状の隆起が規則的にあり、スピードダウンするようになっている。
- ・ 郊外に入ると、風景は、広大な牧場とユーカリ林が続く。ユーカリは水を吸い取るため、土地がやせるということである。ユーカリの木はパルプの材料に。
- ・ 福井村に近づくとつれ、道路状況は悪くなる。福井村まで20キロメートルにあるテラルロソウの町に入ると、レンガ造りの農家が並ぶ。
- ・ 農家では、さとうきび、ぶどう、オレンジなどを作っている。
- ・ 福井村の入り口は、アスファルトの狭い道路になっている。両側にユーカリの木が立ち並び、地面は赤土である。
- ・ 福井村敷地に入ると、桜が咲いていた。(季節は、春に近づいている)

(日本語学校、図書館、農業協同組合等を見学)

- ・ 日本語学校は、日本でいうと「塾」のようなもので、ブラジル学校の午前、午後の合間に日本語学校に通う。
- ・ 教室は3室。他に図書室、会議室(パソコン5台設置)、グラウンド、学校の横には、教員住宅がある。
- ・ 生徒数は、最大で80名いたが、現在33名。子供たちは、元気で、挨拶の声も大きい。また、人見知りしなく、むしろ人懐こい感じである。
- ・ ブラジルの学制は、小学校6年、中学校2年で、8年の義務教育。
- ・ 農業協同組合は、食料品、電池、米、日用品などを扱っている。
(ちなみに、トイレトペーパー 1.3リアル)

研修員OB等との意見交換会

1 日 時 平成16年8月29日(日) 17:00~18:30

2 場 所 ブラジル愛知県人会館 2階会議室
Rua Santa Luzia,74,Liberdade-Sao Paulo,SP

3 参加者

【福井県側】

- ・福井県議会
山本議長、安居議員、大塚主任秘書
- ・福井県
山本副知事、多田国際政策課長、庭本主任
- ・福井県海外移住者家族会
笹島会長
- ・福井県日伯友好協会
大西常任理事 ほか1名

【アルゼンチン側】

- ・在亜福井県人会
北川アルフレッド氏(研修1期生)

【ブラジル側】

- ・技術研修員、留学生OB
立山レイナルド敏行 ほか約20名
- ・ブラジル福井県文化協会
山下会長 ほか

4 概 要

技術研修員OB等から、本県で研修したことに感謝されるとともに、研修が
いかにブラジルで活かされているか、また、今後の事業のあり方等について意
見交換を実施。概要は、以下のとおり。

(研修員)

- ・ 日本では生産物を全部農協に売ってしまうが、ブラジルでは組合を作って
売っている。

(福井県側)

- ・ インターネット販売をやってみたらどうか。

- ・ ブラジルに帰ってきてから日本語を使う機会はあるか。

(研修員)

- ・ 旅行会社だと使う機会がある。

(福井県側)

- ・ 福井県では他県出身の研修員も受け入れているが、福井県出身者が少ないのは何故か。

(山下会長)

- ・ 日本語が出来ないと研修先の迷惑になるということで、日本語能力によって選抜している。語学力も大事だが、意気込みのある人を受け入れて欲しい。
- ・ 他県人であっても、福井県で研修した者は、福井県人会のために働いてくれており、福井県のためにもプラスになっていると思う。

(大西常任理事)

- ・ 今年から技術研修員に対する国の補助金がなくなり、研修員が3名になってしまったとのことだが、このまま研修員制度がしぼまないよう継続して欲しい。

(山下会長)

- ・ 今後も希望が持てるように研修員制度を維持し、ブラジルへの派遣制度なども検討して欲しい。